

# 家庭学習応援だより

## 第2号

今年度は、水曜日のロング昼休みに縦割り班活動や姿勢教室を実施しています。その時間を大洋タイムとしています。その一環として、学力向上のために校内漢字検定や校内算数検定（※本当の検定ではありません、校内〇〇検定なので）を行うことにしました。この取り組みは、昨年度までの月例テストに替わる取り組みです。

これまでの月例テストは、どの学級も一律に問題が出題されていました。しかし、検定試験はご存じのように、検定の階級を自分で決めて受験します。そのため、現学年の内容でなく上級の学年や中学校の検定を受験してもよいですし、下学年の検定を受けてもよいのです。まさに「個別最適な学び」です。校内の検定で自信がいたら、実際の検定試験を受験してみるのもよいでしょう。学校や家庭で自主的に取り組んだことが自分の実力になり、検定まで取れたら、と思うとメリッときかないです。今号では、これまであまり触れることがなかった各種検定について考えてみたいと思います。



### 小学生が受けられる検定試験

世の中には、数多くの検定試験があります。ただし、「小学生が受けられる」となると検定も絞られてきます。ここでは、学校の学習にも役立ち、かつ検定資格も得られる検定を紹介していきます。

#### 実用英語技能検定

- ・ 検定の定番である英検は、英語を学ぶ大人からも大人気。2020年に小学校でも英語が必修となったことで、小学生や小さな子どもを持つ保護者の方から注目が集まっています。2021年の調査では、英語教育を受けている首都圏の小学生の4人に1人が英検3級以上を取得しているとのデータもあり、小学生以下での英検受験は年々浸透してきているといえるでしょう。

#### 日本漢字能力検定

- ・ 入試はもちろん、テレビのクイズ番組などでもお馴染みの漢検。クイズ番組で取り上げられる際には難易度の高い問題が多く出題されていますが、漢検の中でも5～10級は小学生（1～6年生）向けのレベル設定となっています。家族受験も人気があり、家族でゲームをするような感覚で得点を競ったり、合格を目指したりすることが可能です。家族受験の申請を行えば、合格証書のほかに「家族合格表彰状」を受け取ることができます。

#### 実用数学技能検定

- ・ 子どもたちの数字・算数の力を伸ばしたいなら数検がおすすめです。数検の11級から6級は、小学生向けの「算数検定」となっているなど、子ども向けの試験がバリエーション豊富で、レベルや年齢に合わせて受験することができます。



## こんな検定も



### ジュニア・プログラミング検定

- ・ビジネスパーソン向けの資格・検定事業を展開するサーティファイによって、2020年度のプログラミング教育必修化に先立ち創設された小・中学生向けの試験です。

### 珠算能力検定試験

- ・日本珠算連盟と日本商工会議所が共同で主催している珠算能力検定試験は歴史が古く、長年幅広い層から人気の検定です。特に昨今は、大人の脳トレとしてそろばん人気が高まっているほか、子どもたちにとっても集中力、観察力、ひらめき力、記憶力、情報処理力などが育つとして人気の習い事に返り咲いています。

### 日本語検定

- ・語検では、漢字、表記、敬語、言葉の意味、語彙、文法の6つの視点から日本語力を身に付けることができます。毎日使う日本語でも、子どもころから正しい使い方を身に付ければ、他の教科を学ぶ基礎力となるほか、コミュニケーション力や自己表現力の向上も期待できるでしょう。5級～7級は小学生向けの試験となっており、漢字の画数や日常生活で使う言い回しなどが中心に出題されます。



### 実用理科技能検定

- ・日常生活に役立つ科学的な知識やものの見方を高めるための検定です。理科検定には「STEP」と「SCORE」の2種類があり、前者は学年ごとに級が割り振られ、合格によって知識を認定する試験です。8級から6級が小学4年生レベルから6年生レベルに対応しています。

おわりに

「ChatGPT」をはじめ生成 AI の進化が著しい現在、さまざまな文脈や行間を踏まえて試行錯誤する能力は大切になっています。こちらは 2023 年度慶應義塾大学湘南藤沢中等部の入試問題(国語)です。

あなたの目の前に次の意見を述べる人が現れたとして、あとの問いに答えなさい。

「甘いモノって、誘惑は強い割にだいたい体に悪いじゃないですか。肥満とか生活習慣病にも繋がるし。だから、国なり県なりで税金をかけて、値段を上げていけば自然と国民・県民の健康が増進されるって思うんですよ。子供の身体の生育に必要な部分もあるでしょうから、料理に使う砂糖とかは例外として、生活習慣病の人の食生活をある程度追い駆けてみて、どう見てもいけないなあと思うような品目だけでいいんですよ。課税しましょう。」

問 あなたはこの人と対話をしています。この人の意見に 160 文字以内で反論しなさい。

有名なインフルエンサーの語り口にそっくりですね。これからの時代を生きていく子どもたちに、「君たちは鵜呑みにしてしまっていていいんですか？どう考えますか？」と警鐘を鳴らしているようで、おもしろい問題だなと思いました。また、前述したように、これからは書かれている文章が必ずしも人間によって書かれたものとは限らない時代になっていきます。簡単に論破されず、反論できるぐらいの力を身に付けないと AI や情報過多の時代に活躍できる人材は育たないのかもしれないし、一部の学校ではこうした人材を選抜(入試)というかたちで求め始めています。